



一般社団法人

全国常用・非常用兼用蓄電池設備推進協会

災害時の電力供給を支え、 エネルギーの未来をつくる。

わたしたちは、災害時における電力供給の確保とエネルギーの安定供給に貢献することを目的に、蓄電池設備及びエネルギーマネジメントに関する事業を展開しています。



事業概要

- ・非常用電源および蓄電池設備の企画・開発・販売・設置
- ・蓄電池設備の保守・点検・法定検査および技術支援
- ・災害時の電力確保に関するコンサルティング
- ・エネルギーマネジメントシステムの開発・運用
- ・脱炭素、災害対策の為に太陽光発電と蓄電池の設置促進支援
- ・系統用蓄電池等を活用した再生可能エネルギー電力の安定供給支援

非常用電源とは

- ・消防関係法令では、不特定多数の人が利用する施設や自力避難が困難な人が利用する施設には、非常用電源の設置が義務付けられており、建物の停電・火災時にスプリンクラーや火災報知機等の消防用設備を稼働させるために重要な設備です。
- ・現在、日本全国に設置されている非常用電源は、非常用ディーゼル発電機が大半を占めており、停電・火災時以外は基本的に活用できません。

常用・非常用兼用蓄電池設備とは

- ・わたしたちが導入を推進している「**常用・非常用兼用蓄電池設備（防災用蓄電池）**」は、停電・火災発生時の**非常用電源**として利用できるのは当然として、**普段から再生可能エネルギーの活用や電気代削減のためにも活用できる**次世代の蓄電池システムでありディーゼル発電機と比較すると、環境面・コスト面・故障時のリスク低減等、大変優れたメリットを持っています。

導入メリット

「**防災用蓄電池**」に「**産業用（or 系統用）蓄電池**」＋「**太陽光発電**」を組み合わせて導入することで、以下のメリットを最大限に享受できます。

経済性 (Cost Effect)

ディーゼル発電機とは異なり、普段から電力のピークカットや太陽光発電の余剰電力を活用できるため、早期のコスト回収が見込め、DR (ディマンドリスポンス) や VPP (バーチャルパワープラント) としても活用できる可能性がある

脱炭素 (GX & Renewable)

ディーゼル発電機のような燃料管理は不要で、騒音・振動・排気ガス等の問題もなく、再生可能エネルギーとの組み合わせで環境価値を最大限に高めるとともに、CO2排出を削減することで、脱炭素経営を強力に推進することができる

災害への備え (DRR & BCP)

普段から活用できる防災用蓄電池は、ディーゼル発電機のような停電・火災発生時に起動できないというリスクがない
また、産業用蓄電池と太陽光発電を組み合わせることで、災害時に電力会社からの送電が停止した場合でも電力の利用が可能

▽ 賛助会員を募集しています。詳細・お問い合わせはこちらから ▽



一般社団法人

全国常用・非常用兼用蓄電池設備推進協会

〒547-0034

大阪府大阪市平野区背戸口1丁目2番15号（浪速熔材株式会社内）

☎ 0120-119-115

🌐 <https://chiku-den.com/>

✉ info@chiku-den.com

